

# 熊本県透析施設協議会だより

## 副島一晃

### 1 熊本県透析施設協議会設立の経緯と取り組み

熊本県透析施設協議会は1988年に今や熊本県の透析医療の重鎮といわれる先生方の御尽力で設立され、初代会長は嶋田英剛先生（現医療法人如水会嶋田病院会長）が務められました。近年は会長任期は2年で、現会長の筆者は、前会長有菌健二先生の後を受け2019年1月より会長職を務めております。

本会は透析施設相互の連絡を密にし、透析医療の充実を図り、透析医療並びに腎疾患対策や透析医療の災害対策、透析医療に従事する職員の育成及び教育、関係官庁・医師会・関係諸団体等との連絡交渉等多岐にわたる取り組みを行っております。1995年から県内の透析施設の若手スタッフのための講習会（7月末開催）を年1回開催し、2007年からは透析施設協議会の下部組織として災害対策分科会を立ち上げ、災害対策講演会（8月末開催）を年1回定例会として開催しております。

本会の会員は熊本県下の透析施設であり2019年8月現在、熊本県下の透析施設92施設中85施設が会員で高い組織率が特徴です。年間の活動としては年4回の定例理事会（1月、4月、8月、12月）とスタッフ講習会開催（7月末）、透析施設協議会主催ビアパーティー（8月初旬）、災害対策講演会（8月末）、透析施設協議会主催秋の講演会（10～11月頃）が主な活動です。2019年は特に11月3日に日本透析医会研修セミナーがホテル日航熊本で開催され、それに先立ち、11月2日に日本透析医会理事の諸先生方とともにホテル日航熊本において懇親会を開催しました。

### 2 2019年の熊本県透析施設協議会の主な活動報告

#### 第1回理事会開催（2019年1月24日、会場：ホテル日航熊本）

- ・役員人事について有菌健二会長から副島一晃へ会長交代が承認され、新体制は以下となりました。

会 長 副島一晃（済生会熊本病院腎臓科）

副会長 江田幸政（事務局担当：仁誠会クリニック光の森）

副会長 久木山厚子（宇土中央クリニック）

監 査 田添昇 有菌健二

他、理事 15名

- 2018年の会計報告、事業報告ならびに2019年の予算報告、事業計画（案）がなされ承認されました。

#### 第2回理事会開催（2019年4月25日、会場：ザ・ニューホテル熊本）

- 3人の理事から理事交代の報告を受け承認されました。
- 熊本医療センター：富田正昭理事から梶原健吾理事へ交代
- 熊本大学腎臓内科：中山裕史理事から安達政隆理事へ交代
- 熊本中央病院：有菌健二理事から野村和史理事へ交代

また熊本県の災害対策を担当する医療政策課の担当者の交代も報告され、スタッフ講習会、ビアパーティー、災害対策講演会について日時・概要の報告が各担当者からなされました。

#### 透析スタッフ講習会

日時：2019年7月28日（日）、会場：済生会熊本病院コンベンションホール

熊本中央病院野村和史先生が担当で開催された。参加者は臨床工学技士、看護師が中心で、事前参加、当日参加含め147名の参加がありました。プログラムも8名の講師により、透析医療の現状から、透析患者の栄養、バスキュラーアクセス、透析患者の内服薬についてなど、講演内容も多岐にわたるものでした。

#### 第3回理事会・ビアパーティー開催

日時：2019年8月1日（木）、会場：ザ・ニューホテル熊本

理事会にてパーティー参加費の支払い方法や日程の検討がなされ、来年の開催は2020年7月30日（木）でビアパーティー用の口座を開設することとなりました。

今年のビアパーティーは上村内科クリニック上村克哉先生が担当で開催され、37施設からスタッフ315名の参加をえて施設間の顔の見える連携を構築するいい機会となりました。

#### 災害対策講演会

日時：2019年8月29日（木）、会場：くまもと森都心プラザ

災害対策分科会会長嶋田英敬先生が担当で開催されました。災害対策講演会に先立ち、災害対策ブロック長会議が開催され、会議では地震以外の災害（台風や大雨）での災害情報ネットワークホームページへの書き込みが少ないことが指摘されました。被災がない施設は入力を行っていないことが多く、警戒レベル4での災害情報ネットワークホームページへの入力を促すことが確認されました。ブロック長会議後、災害時の行政の窓口となる熊本県健康福祉部健康局医療政策課2名と災害時の情報共有のあり方、メール、電話等の連絡方法について確認しました。

講演会のプログラムは以下の通りでした。

一般講演座長：済生会熊本病院 副島一晃

講演① 演者：熊本県臨床工学技士会災害対策担当仁誠会クリニック大津 荅達哉先生

「令和元年 情報伝達訓練について」

講演② 演者：熊本県健康福祉部健康局医療政策課医療連携班参事 原田大祐様

「熊本県の災害医療提供体制について」

特別講演座長：嶋田病院・嘉島クリニック理事長 嶋田英敬先生

特別講演演者：東北大学大学院医学系研究科腎・高血圧・内分泌学分野特命教授

宮崎真理子先生

「災害対策の継続と進歩」

#### 透析施設協議会 秋の講演会

日時：2019年10月10日（木）、会場：パレア

毎年恒例の秋の講演会の講師としてJCHO 千葉病院から三木洋二先生を招聘し、「透析医療における感染対策」と題した御講演を拝聴しました。

#### 熊本腎肝連携セミナー

日時：11月26日（火）、会場：ザ・ニューホテル熊本

（共催：熊本県透析施設協議会/臨床工学技士会/腎不全看護研究会/アッヴィ合同会社）

C型肝炎治療の進歩で、透析患者においても副作用が軽微なC型肝炎治療が可能となり、その啓蒙もかねて主に透析施設の医師・スタッフを対象としたセミナーを企画開催しました。内容は以下の通りでした。

座長：済生会熊本病院 副島一晃

講演①：熊本赤十字感染管理認定看護師 東陽子先生

「透析室における感染対策」

講演②：嶋田病院臨床工学部部長透析室マネージャー 甲斐正信先生

「当院におけるC型肝炎に対する取り組み～透析室からHCVの撲滅は可能か！～」

座長：くまもと森都総合病院 藤山重俊先生

特別講演：下落合クリニック理事長 菊池勘先生

「透析患者におけるC型肝炎治療のパラダイムシフト」

#### 第4回理事会開催（2019年4月25日、会場：ザ・ニューホテル熊本）

- 熊本県透析施設協議会へ熊本セントラル病院から入会申請がなされ承認されました。
- 熊本県透析施設協議会の理事の偏在について  
八代・水俣地区と玉名、荒尾地区の理事不在が示され、八代・水俣地区は熊本総合病院腎センター長・實吉拓先生、玉名・荒尾地区は荒尾クリニック・毛利友彦先生が理事へ推薦されました。
- 熊本県腎不全看護研究会とDLN会の合併についての提案があり、合併後は熊本県CKD看護研究会として一本化されることが承認されました。（第1回の看護研究会を2020年7月12日に国際交流会館で行う予定）
- 日本臨床工学技士会学術集会在2021年5月に熊本市で開催予定であり、熊本県臨床工学技士会からそのための開催費補助申請があり、大会概要や予算規模の説明がなされました。熊本県透析施設協議会としては過去の実績をチェックして大まかな予算書を作成していただき、必要な寄付額を見積もることとなりました。また税務関係の対応（寄付金控除等）や行政の補助金等も申請いただくよう依頼しました。

- 年会費の納入状況が報告され、全施設納入済であることが確認されました。
- 2020年透析施設協議会総会・第1回理事会の日時が確認されました。  
(2020年1月23日(木), 会場: ホテル日航熊本)

### 3 おわりに

透析医療に関する課題は山積しておりますが、前会長の方針を引き継ぎ、チーム医療・透析施設間の連携を今まで以上に密にしていき、質の高い透析医療の提供に微力ではありますが貢献できればと考えております。皆様の御支援・御協力そして御指導の程宜しくお願いいたします。